

第三者評価結果の公表事項

①第三者評価機関名

一般社団法人 宮崎県社会福祉士会

②評価調査者研修修了番号

2016-26 2022-03

③施設の情報

名称： 野尻保育園	種別： 保育所
代表者氏名： 園長 井岡 利雄	定員（利用人数） 40名
所在地： 宮崎県小林市野尻町東麓2177-1	
TEL：(0984)44-1138	ホームページ：
【施設の概要】	
開設年月日： 昭和43年4月1日（洗心会移管 令和3年4月1日）	
経営法人・設置主体（法人名等）： 社会福祉法人 洗心会	
職員数	常勤職員： 14名 非常勤職員： 2名
有資格 職員数	保育士： 11名
	看護師： 1名
	管理栄養士： 1名
	調理師： 1名
施設・設備 の概要	(部屋数) 12室
	乳児室 1室
	ほふく室 1室
	保育室 3室
	遊戯室（ホール） 1室
	調理室 1室 その他 5室
	(設備等)

④理念・基本方針

保育理念

生涯にわたる人間形成は、乳幼児期にその基礎は培われる。将来社会の一員として、より良く生きるべき基礎を形成するために園を家庭の延長線上に位置づけ、子どもがより健康安全で安定した情緒の基に個性を充分発揮できる環境を整え、健全な心身の発達を図ることを理念とし事業・保育を行う。

基本方針（野尻保育園 保育ビジョン）

- ・ やりたいことを見つけ、とことんあそぼう ～おもいっきりあそぶ！～
- ・ 自分らしさを認め合おう ～じぶんもスキ。みんなもスキ！～
- ・ いろいろなことに挑戦しよう ～やってみたい。をやってみる～

⑤施設の特徴的な取組

1. まずは保育園として乳幼児との関わり方について野尻保育園の保育ビジョンをもとに具体的な保育内容を職員全員で思案し、実行するとしています。
2. 地域のニーズを把握し、子育てのベースとなるような施設を目指しています。放課後児童クラブをはじめとし、子育て支援事業などニーズに応えられる体制を構築したいとしています。

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年 3月2日（契約日）～ 令和5年 11月7日（評価結果確定日）
前回の受審時期（評価結果確定年度）	—

⑦総評

◇特に評価の高い点

1. 公立保育所の法人移管を受け3年目を迎えますが、地域子育て支援の拠点として役割を担おうと意欲的に保育事業を進めています。特に諸規程やマニュアルの作成、中期計画の検討など事業運営の基盤づくりに必要な取組に合わせ、今後の保育のあり方や事業展開を見据えた検討と実践に取り組んでいます。
2. 税理士や社会保険労務士など外部の専門家による定期点検や指導・助言を受けており、適正な事務管理に努めていますが、さらに今回、福祉サービス第三者評価の受審に臨み、福祉サービスの提供のあり方や質の向上に真剣に向き合おうとしています。
3. 一人ひとりの子どもを理解しようとよく見て、その時々の子どもの気持ちも尊重しながら、個別に必要な関わり方を考え、子どもの成長を支える保育をおこなっています。子どもが保育園で日中過ごす中で自然に文字に興味を持てるような環境を工夫するなど、子どもの自ら育つ力を大切にしていることが伺われます。

◇改善を求められる点

1. 現在、Instagramで保育場を発信していますが、パンフレットやホームページが未作成で、保育を必要とする保護者、地域の関係機関等がその内容をわかりやすく知るための情報提供が十分でなく、これらの広報媒体の活用が求められます。
2. 職員が自己評価を行う仕組みがありますが、結果を組織的に分析・検討する仕組みがなく、特に保育の質の向上に向けて組織的にPDCAサイクルをおこなう体制ができていません。今後は保育内容とともに事業計画の策定等においても職員の参画のもと組織的に検討する仕組みを構築することが求められます。
3. より良い保育の実現を目指し、個々の課題を認識し、改善に向けて努力されています。アレルギー対応や虐待対応等の、非常事態発生時に緊急で組織的対応が求められるような取組については、保育現場のリスクマネジメントの観点から、優先度をつけ体制を整備していくことが求められます。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

第三者評価を受審し、園として必要な改善点など丁寧に指導してもらえたと感じる。改善すべき点は真摯に受け止め、できるところから職員全体で共有しながら、よりよい園づくりに努めたい。

⑨第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。